

小塚山公園拡充予定地の整備を考える会

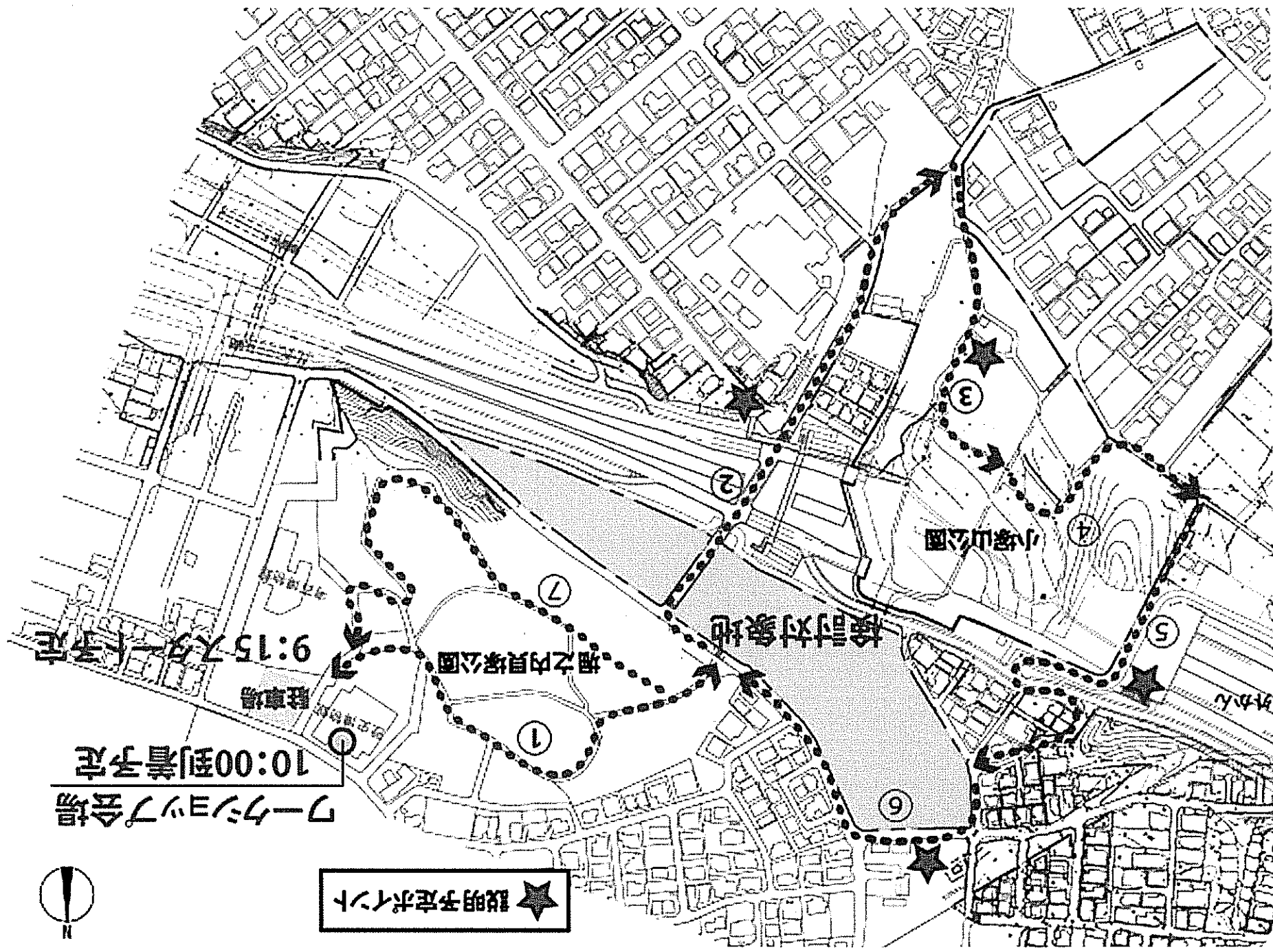
第1回WS配布資料

当日のメニュー

1. 現地踏査.....	2
2. これまでの経緯と本年度検討概要の確認.....	3
2.1 住民参加検討：平成14年『どうめき谷津の公園づくりを考える会』.....	3
2.2 各種前提条件の確認：今回の検討に当たったつての変化等.....	7
3. 本年度の検討スケジュール.....	8
3.1 第1回：現地体感／課題抽出と目標イメージの調整 8月28日.....	8
3.2 第2回：基本設計素案の検討（導入施設選定とゾーニング） 10月中旬.....	8
3.3 第3回：基本設計案のとりまとめ 12月上旬.....	9
3.4 第4回：デザインイメージの検討／基本設計案のまとめ 1月末.....	9

1. 現地踏査

想定ルート図 (案)



2. これまでの経緯と本年度検討概要の確認

2.1 住民参加検討：平成14年『どうめき谷津の公園づくりを考える会』

2.1.1 どうめき谷津の公園づくりを考える会の活動内容とスケジュール

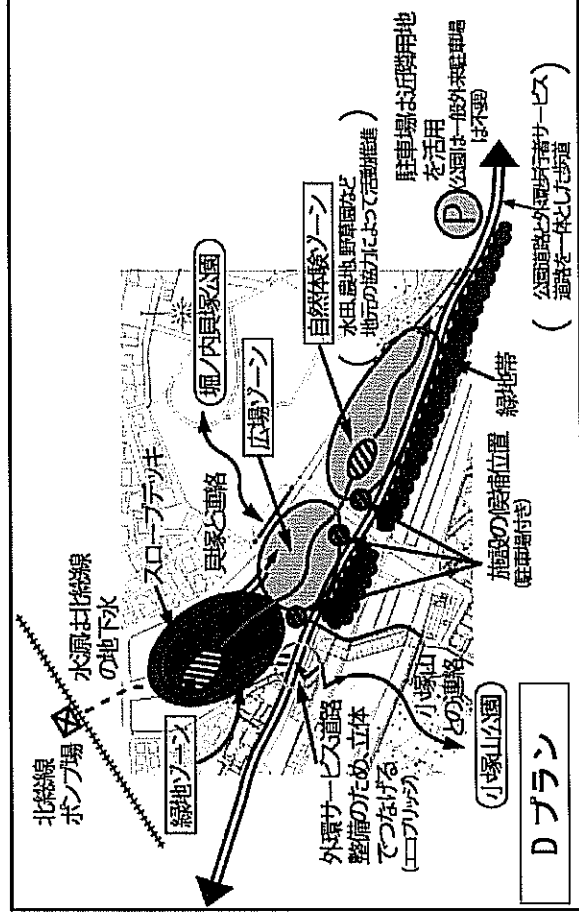
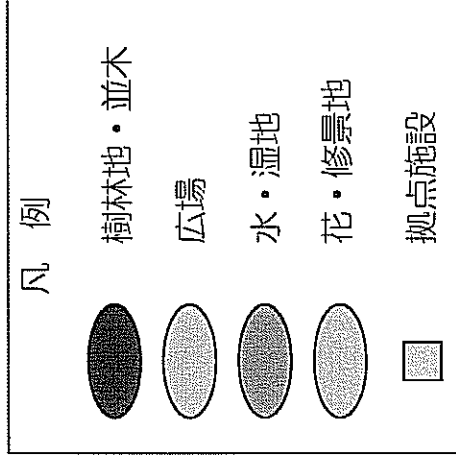
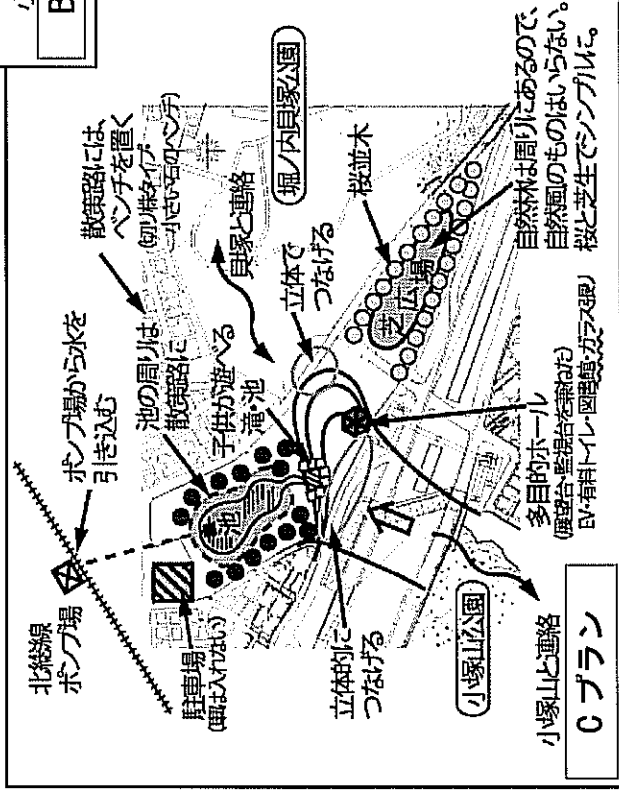
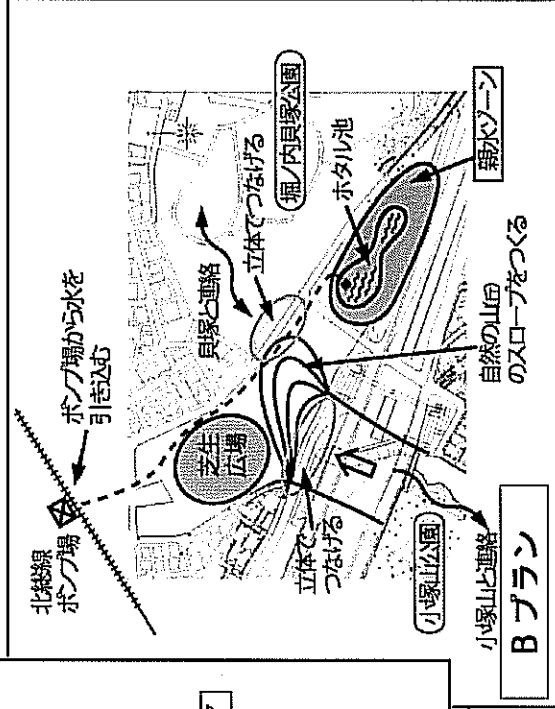
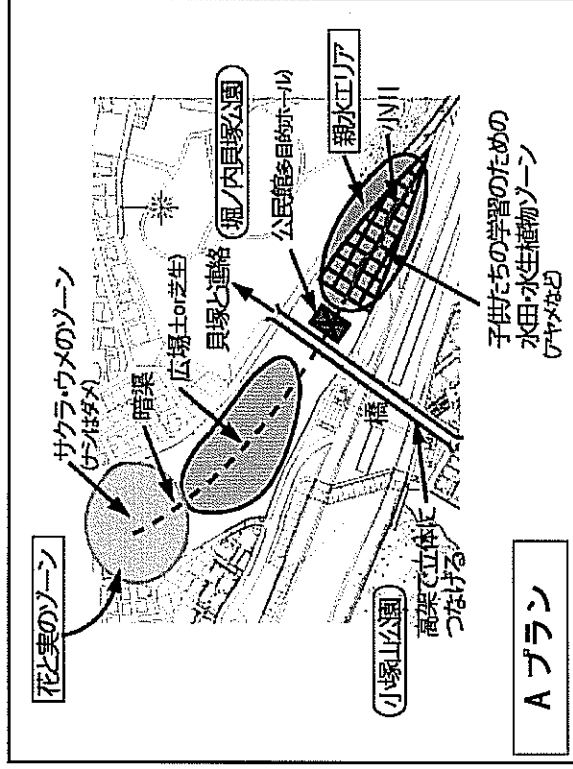
- 以下のような内容の検討が住民参加で行われた。

	テーマ	検討内容
<p style="text-align: center;">みんなで 公園のイメージをつくろう</p>	第1回 H14. 2. 23 『考える会 開催！』 参加24名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民参加型の公園づくりについての講演 ・ 公園についての意見交換
	第2回 H14. 4. 6 (H14. 3. 23 は雨天中止) 『現地見学会！』 参加19名	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうめき谷津と周囲の公園の見学
	第3回 H14. 4. 20 『公園について考える 1！』 参加22名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の事例研究 ・ グループに分かれて意見交換
	第4回 H14. 5. 25 『公園について考える 2！』 参加21名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園にほしいもの、したいことを考え、グループでまとめる
	第5回 H14. 6. 22 『公園づくりコンセプト(案)決定！』 参加15名	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンセプト(案)について意見交換 ・ 事例写真を見て公園のイメージの具体化
	第6回 H14. 7. 27 『公園のモデルプラン を考える1！』 参加18名	<ul style="list-style-type: none"> ・ つくりたい公園をイメージする ・ グループ毎にモデルプランの作成
	第7回 H14. 8. 24 『公園のモデルプラン を考える2！』 参加17名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回のモデルプランについて意見交換
	第8回 H14. 9. 28 『公園のモデルプラン 決定！』 参加15名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考える会の意見のまとめ ・ モデルプランの発表

みんなで
公園のプランを考えよう

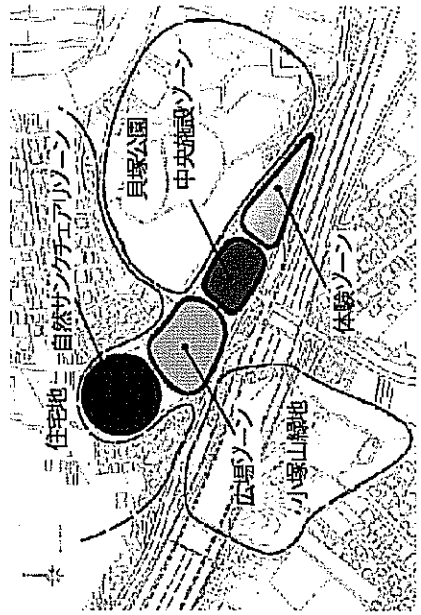
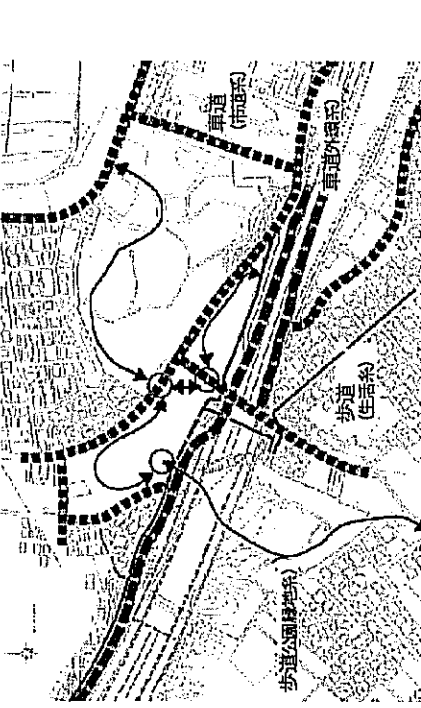
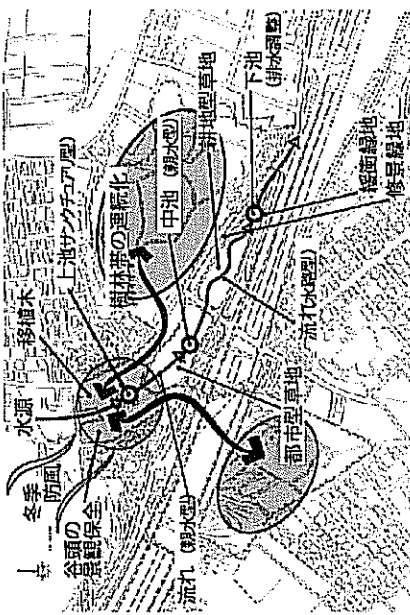
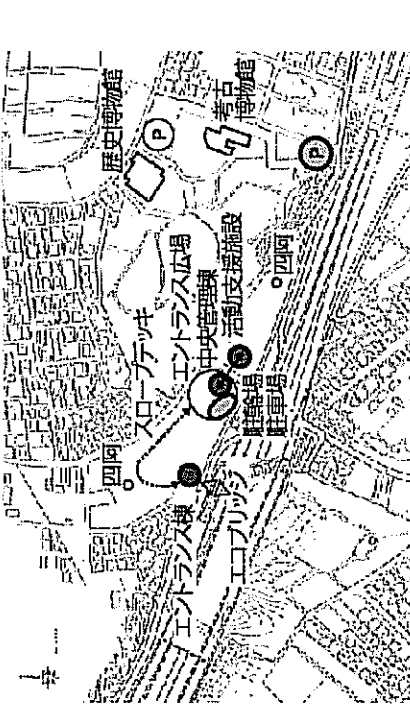
2.1.2 検討案（ゾーニングの比較検討）

グループに分かれて検討を行い、以下のようなゾーニング案が提示された。



2.1.3 プランのまとめに向けた各機能等の整理

グループごとの検討案の取りまとめに向けて、周辺土地利用や道路の配置、隣接する公園等の状況等を考慮し、以下のように各種機能等の配置や連携の考え方を整理した。

ゾーンごとの機能・役割	動線
 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然サンクチュアリ (住宅地のそばは静かな用途) ・ 広場ゾーン (広場を大きくするにはこの位置が最適) ・ 中央施設 (車道が通っており、サービス道路、または老人などの車を使ったアクセスがしやすいので) ・ 体験ゾーン (活動の影響が住宅地に及ばない区域) 	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道は車道とできるだけ分離した配置にして安全性を確保する。また、緑の散歩道などの公園緑地系のもものと、近隣の生活利便性を考慮した生活系ものを合わせて考える。 ・ 小塚山公園と堀之内貝塚公園の既存園路を結び、公園緑地系のゲート进行ける。 ・ 外かんで計画されている歩行者・サイクリング道と一体となる歩行者動線とする
緑と水の構成	各種施設の配置と機能
 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小塚山公園と堀之内貝塚公園を結ぶ緑のネットワークとなる緑地を住宅地との緩衝帯に配置する。 ・ 地下水を利用した水辺を創出する。 ・ 外かん整備に伴い発生する移植木を活用する。しかし移植木は谷地の育成条件に適しているのかどうか、今後の調査・検討が必要。 	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園計画地の周辺施設と合わせて公園内の施設用途と配置を考える。住宅地の側には駐車場を設けない。(車が入りやすいので) ・ 主要施設は動線の関係から計画地の中央に配置し、中央管理棟と活動支援施設の2棟に機能を分散させる。

2.1.4 【本検討の前提となる】公園づくりのコンセプトと方針

本検討を進める上で、以下の方針等を基本的な前提とする。・・・決定済み事項

(1) 「小塚山公園づくりコンセプト」

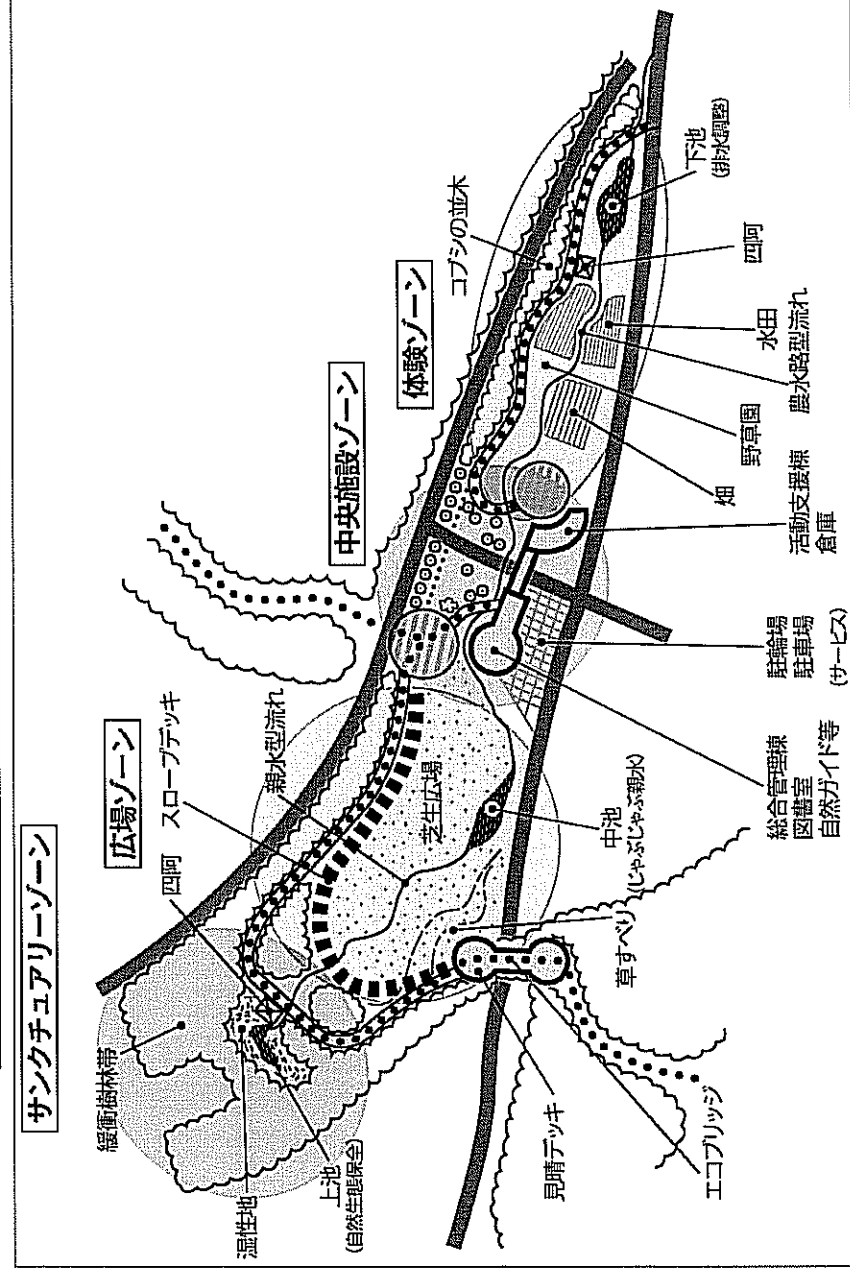
「緑と水をつなぎ、里山の自然を育み継承しながら、地域の全ての人が安心して集い交流する『環境ふれあい公園』」

(2) 公園づくりの方針

- 方針1 『堀之内貝塚公園、小塚山公園、じゅんさい池緑地を緑の散歩道で結び、日常生活や自然散策に便利な公園づくり』
- 方針2 『安心して暮らせる生活環境の向上のために安全で清潔な公園づくり』
- 方針3 『子供からお年寄りまで全ての人が自由にのんびりとくつろげる明るくて開放感のある公園づくり』
- 方針4 『緑豊かな地域の自然とふれあい、四季の変化を享受できる公園づくり』
- 方針5 『自然と楽しく遊べる里山体験を基調とした個性豊かな公園づくり』
- 方針6 『自然と共生する暮らしを継承するために谷津の自然景観とそこに生きている動植物を守り育む公園づくり』
- 方針7 『地域の歴史風土を学べる原風景を保全するために谷津地形を活かした公園づくり』
- 方針8 『地域の共有財産である公園の管理に主体的に参加する公園づくり』

2.1.5 計画案【本検討の基本となる計画要素と概略配置】

本会では、以下の提案図に示された導入機能等をベースに、時間経過に伴う種々の条件変化等を踏まえて施設内容・規模・配置を見直し、具体的整備形態・各部のデザインのあり方を検討する。その際に、技術的制約と住民による自主的管理など現実的な視点を加えて見直しを進める。



2.2 各種前提条件の確認：今回の検討に当たっての変化等

【経時的な条件変化に伴う検討】

- ① エコブリッジ・歩道橋の位置・構造等
- ② 周辺の高齢化の進行等

↓↑

【基礎的条件の精査に伴う検討】

- ③ 雨水貯留に伴う空間・施設の確保・・・建築構造物の設置に伴い、宅地開発とみなされるため、雨水貯留施設の配置・規模を意識した計画検討が必要
- ④ 地下水の水量・水質【北総鉄道の線路内への湧出水と雨水】・・・必要な機械設備とランニングコスト等、今後確認する水質調査結果を踏まえて、安全衛生面の配慮等を踏まえた現実的な対応が必要（触れる水、眺める水等の扱いと、その規模）
- ⑤ 予算上の制約・・・本検討のすべてが実現可能ではないので、優先順位と整備水準を常に意識して検討
- ⑥ 水路上部の盛土量の制約・・・敷地中央を縦断する地下水路の上部には、構造上大きな荷重はかけられないため、造成・施設配置に留意する必要がある。
- ⑦ 現況樹木（移植木）の活用・・・敷地北部に移植済の樹木については、これらをそのまま生かすことを前提に検討する。

↓↑

【コンセプト・方針の具現化に向けた具体的な整備形態】

- ⑧ 導入施設の規模・形状・相互配置／予算規模に照らした導入の優先順位等（ネットワーク化する公園緑地との連携と役割分担）・・・駐車場の必要性・配置・規模（フィードバック）
- ⑨ 《森》《広場》《水・湿地》《農地》・・・植栽と造成を含めた立体的な空間づくり・特徴的な谷津景観の保全創出（らしさの演出につながる優先要素と組み合わせ方）
- ⑩ 生物生息環境の創出（目標とする生物相とハビタット）・・・隣接樹林地との連携を意識したエコブリッジの《受け》、飛び石ビオトープ形成等の考え
- ⑪ 周辺住環境の快適性・安全性の確保・・・防災性能の向上（災害時）／防犯面の配慮（造成・施設・植栽による視線制御、圍路と活動配置）

↓↑

【住民の参画】を前提とした整備・管理に向けて

- ⑫ 参加・体験型施設の内容・規模の精査・・・完成後の維持管理（特に住民による主体的な管理運営への参加）を意識した継続性の高い提案・施設内容を吟味



※生物相：環境を同じくする場所または地理的に画された一定の地方に生活しているすべての生物の種類。

※ハビタット：生物個体あるいは個体群のすんでいる場所。生息場所。生息環境。

3. 本年度の検討スケジュール

3.1 第1回：現地体感／課題抽出と目標イメージの調整 8月28日

3.1.1 【基礎条件等の提示】ワークショップの役割確認

- ・ これまでの検討経緯の確認／(周辺の水と緑のネットワークとの連携と役割分担など) 上位関連計画等で求められる機能、予算面の目安等、将来の維持管理を含めた官民の役割分担も見据えた今年度の検討範囲(住民提案をどんな形で活かせるか)を確認
- ・ 検討手順とスケジュール(今年度各回の討議内容)の確認

3.1.2 【現地体感】

- ・ 計画対象地内と隣接部を現地踏査：計画地の大きさ・形状・地形、既存樹の分布、敷地外縁部・隣接地との関係や道路との接続状況等を確認

3.1.3 【課題抽出】【整備上の留意点整理】【ゾーニングの見直し】

(1) グループ討議

- ・ 【1 現地で感じた課題等の整理】：「問題点・課題」「魅力」「その他・留意事項等」をグループ毎に意見交換し、図上で整理。
- ・ 【2 方針の具現化に向けた施設や整備上の留意点整理】：H14年検討成果のコンセプト・方針を具体化するための施設等と整備上の留意点を抽出。
- ・ 【3 ゾーニングの見直し】：目標イメージ・テーマ／導入機能の概略配置と整備重点・優先エリア等の調整

(2) 基本設計素案作成に向けた全体意見交換

- ・ ユニバーサルデザイン化が望まれる施設やルート／広域ルートの接点として必要な施設等
- ・ 参加型整備と管理について：住民と行政の役割分担／利用ルールの考え方等
- ・ 安全・安心：防災機能強化に向けた空間・施設／防犯面の課題等

3.2 第2回：基本設計素案の検討(導入施設選定とゾーニング) 10月中旬

3.2.1 【比較検討素案の提示】概略平面図と主要部のイメージを伝える事例写真等

- ・ 第1回の意見交換内容を受けて、各グループのゾーニング見直し検討案をベースに比較検討素案(「自然環境保全重視」「多目的広場・イベント空間重視」「分区分等参加型空間と遊び場導入」等を想定)を作成し、計画の方向性を絞り込むためのたたき台として提示する。

3.2.2 【整備の方向性を調整】

- ・ 上記素案をベースに全体で質疑・意見交換を行う。
 - ・ 予算と維持管理及び将来ニーズも見据えた導入機能・施設の取捨選択(代替施設の提案)、整備の優先順位／規模と整備水準
 - ・ ・ ・ ・ 環境保全と動的な活動空間確保等の対立軸について調整
 - ・ 各部の整備イメージ(主要素の配置と空間構成、エコブリッジ周辺の高低差処理の仕方、《森・樹林地》《広場・芝生地》《水面・湿地》《農地(参加体験空間)》の配置バランス等)・・・各案のどこをどう取り入れてまとめるのが望ましいか
- ・ 意見交換の傾向をその場で整理し、調整する。基本設計案として取りまとめる方向性を絞り込む。

3.3 第3回：基本設計案のとりまとめ 12月上旬

3.3.1 【基本設計案の提示】基本設計平面図と主要部の立体的な整備イメージ

- ・ 第2回ワークショップで検討した整備イメージ比較案と主要意見の傾向に沿って「基本設計案」を作成し、当日の意見交換のたたき台として提示する。

3.3.2 【施設配置・規模・形状等の調整／課題整理】

- ・ 上記「基本設計案」をベースに、次のような内容について、グループで意見交換を行う。
 - ・ 施設配置と方向、入口設定、圍路幅員、高低差処理（造成法面と擁壁等の処理、階段とスロープの設定）、植栽地の整備形態「森」「並木」「疎林」等と樹種構成のイメージ等・・・空間や施設の大きさや位置について調整
 - ・ 住民参加型の維持管理運営を想定した場合の課題、施設内容・規模・配置・デザイン等へのフィードバック

3.3.3 【各部の整備イメージと施設のデザイン上の留意点を整理】

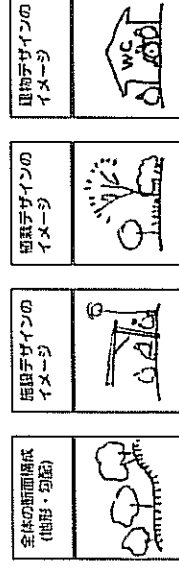
- ・ グループ毎に取りまとめた内容について全体で質疑・意見交換を行い、各部の整備イメージと施設のデザイン上の留意点を整理する。

3.4 第4回：デザインイメージの検討／基本設計案のまとめ 1月末

- ・ 前回検討に基づいて施設のイメージも盛り込んだ「基本設計案」を提示する。これをベースに、全体のデザインコンセプト及び導入予定施設のデザインのデザインイメージを調整するとともに、管理運営も意識した設計案の取りまとめに向けた意見を確認する。

3.4.1 【主要施設の具体的なデザインの検討】

- ・ 模式断面やイメージスケッチ、事例写真によりデザインイメージを共有する形で、主要導入施設の概略構造と素材・形状・色彩等の案を提示し、参加者全体で意見交換して目標像をすり合わせる。（参加者がそれぞれ参考となる資料やイメージ写真などを持ち寄ることも検討する）
- ・ 同様に模式断面やイメージスケッチを提示しながら、保全と新植の考え方を含めた植栽イメージについて調整する。



3.4.2 【管理運営面も意識した基本設計案のまとめ】

- ・ 当日の意見も含めて、これまでのワークショップを総括し、さらに具体的な実施設計へと反映させるポイント、及び懸案として残すべき内容を整理する。
- ・ 管理運営への住民参画も意識し、以下のような点について意見交換を行う。
 - ・ 「ソフト」：利用・活動の案内、利用ルールの設定などについて整理。
 - ・ 「ハード」：照明計画、門、フェンス、サイン等の管理施設のイメージ／維持管理に必要な資材の収納スペースなど・・・ソフト面の対応と呼応する形で必要な施設内容と規模・具体的な配置・形状について確認・調整。